

月刊 新翔タイムズ

第53号
新翔タイムズ
編集室
発行・熊野新聞社

小学校で交流活動

高校生よみかたりボランティア

高校生よみかたりボランティア交流活動も、今年度で9年目を迎えた。それぞれの年度の特色を出して、継続している事業です。

今年度も昨年度に続いて、リラックスしてよみかたり、色々なやりとりを笑顔で自然にする。小学校、宇久井小学校との交流活動を行った。小学校も高校もなかなか忙しく、日程の調整に苦労した。12月に集中して行うので、瞬間に過ぎてしまいます。それぞれの学校での様子などをまとめてみた。



12月13日、三輪崎小学校へ。1、2年生と交流した。2年前の卒業生で、よみかたりボランティアOBの福本綾菜さんが応援に来てくださり、予期せぬ新旧共演が実現した。そして2回目ということもあり、元気満々の小学生たちのやりとりを楽しみなが交流できたことが良かった。

7月の養成講座で指導していただいた坂野真生子、山田てるみ、伊藤松枝先生が同行して下さり、交流活動後にさまざまなアドバイスを下さった。また、落ち着いてきたこと、プログラム構成が良かったことなど、お褒めの言葉も頂いた。

11月22日、新宮警察署の田嶋深氏を講師に招いて、1年生を対象に「薬物防止教室」を実施した。まず、冒頭に田嶋氏からこれまでの関わった数々の事件について、状況などを踏まえて詳しく解説。薬物に関しては、その

間伐や植栽、道普請など 地域文化系列の生徒ら体験学習

北山村 ジャバラ

地域文化系列の2、3年生29人は11月20日に特産のかんきつ類「ジャバラ」による地域活性化に取り組んでいる北山村を訪れ、ジャバラの収穫やジャム作りなどを体験した。北山村を訪れる現地研修は、新宮市と周辺市町村、県の協力関係で毎年実施している。今年度もジャバラ収穫とジャム作りを体験。また、エネルギー問題・環境問題を学習観点から、同村が取り組む自然循環型社会の一環として、おくとろ温泉でまきガスボイラー見学をした。2年の杉原優さんは「ジャバラの収穫は面白かった。ジャムは自分で作ってみたい」と話しており、地域の特産物を身近に感じた様子だった。



地域文化系列の生徒(3年生16名、2年生13名)が、観光について学ぶ一環としてグリーンツーリズムの在り方の学習を深めようと11月14日に熊野川町「ふれあいの森」で間伐体験、植栽体験の体験学習を行った。昼食には間伐材のまきで焼いたヒザやめはりしを自分たちで作った。本校にて、11月6日に田中多喜夫先生(熊野川町森林組合長)から、熊野の森林、林業の現状や重要性、間伐の方法などについて講演をしていただき、体験学習に臨んだ。午前には、森林組合の方々の指導を頂きながら、森林に入り間伐体験を、

2、3年生がそれぞれ測量・計算・カウソンの役割に分かれ、事前学習を生かし、間伐する本数を決め、その後、伐倒機を使って、伐倒機(3人4人)の班に分かれ、各班が約10本の間伐を行った。午後からは、3、4名の班をつくり、再び森林(田辺市本宮町)の指導で、午前中は世界遺産の基礎的な学習と「紀伊山地の霊場と参詣道」の歴史、2、3年生が世界遺産学習を行った。県世界遺産センター



史や文化について学んだ。講義の中で大瀧新先生は、「観光を学習することで、時空を超えた出会いがある」と述べ、生徒も観光の奥深さを実感していた。午後からは式水から300mほど上がった古道への1丁の土入れ(道普請)を行い、熊野本宮大社までの古道を歩く熊野古道ウォークを行った。

道普請

12月11日に地域文化系列2、3年生28名が世界遺産学習を行った。

初めまして。今年4月から本校に勤務させていただいています。別所宏美(べっしょひろみ)と申します。担当教科は商業科です。部活動は、バドミントン



先生の紹介 別所 宏美先生

部活動は、バドミントン。今年、初めて続きの年で、私共は大阪の初めと和歌山の位置のイメージは「大阪の下」でしたが、実際勤務することになったのは「三重の横」ということ

倉明徳先生、5限に保健体育科・塩路友理先生の授業が行われた。岩倉先生は1年2組のビジネスライフスタディ



初任研授業研究

11月29日に商業科・岩倉明徳先生、5限に保健体育科・塩路友理先生の授業が行われた。岩倉先生は1年2組のビジネスライフスタディの授業で、「代金の決済方法」の一つ、小切手の特徴と作成についての授業を行った。授業の導入では、コピー用紙で作った数千万

「断る勇気が必要」 1年対象に薬物防止教室

多くの種類や、使用した時の体に現れる状況や行動について、また、検拳数や刑期についても触れたい」と締めくくった。薬物は一度使用するとなかなかやめることはできず、体に悪いことはもちろん、自分自身だけでなく家族や周りの人にも影響を及ぼすとし、「周りから勧められてもちゃんと断る勇気が必要。絶対に手を出しはけない」と締めくくった。

ソフトテニス部 クラブ紹介

ソフトテニスは、男子女子5名の計26名で活動しています。今年度は、「先を読む」という目標を掲げています。ソフトテニスには、戦う競技であり、どのようにして2人でポイントを決めるかというところが大切になります。技術面の向上も必要です。技術面の向上も必要です。技術面の向上も必要です。技術面の向上も必要です。



選手権・新人戦の結果

バレーボール部
選手権大会結果ベスト16
▽10月27日=予選リーグ
新翔2(25-12、25-2)0 橋本
▽10月28日=決勝トーナメント
1回戦
新翔2(25-18、25-20)0 笠田
2回戦
新翔0(9-25、13-25)2 県和商